

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	オーダーメイド医療の実現プログラム		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	研究振興戦略官付		研究振興戦略官 岡村 直子		
会計区分	一般会計		施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がん・生活習慣病等の国民の健康に特に影響を与える疾患について、全国57病院の協力によるオールジャパン体制で関連遺伝子の探索・解明等を行い、個人個人に最適な予防・治療を提供することを可能とする医療の実現を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第1期事業(平成15年度～平成19年度)で収集した、世界最大規模の約30万症例の血液サンプルや臨床情報(バイオバンク・ジャパン)を活用し、発がん、生活習慣病リスクに関連する病因遺伝子・薬剤応答性遺伝子の確定、生活習慣などの環境要因を発見し、これらの成果を予防・診断・治療への展開に繋げるため、疾患関連遺伝子研究等を推進するとともに、ELSI(倫理的・法的・社会的な取り組み)についての調査研究を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	2,794	2,718	2,027	1,560	1,560	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	2,794	2,718	2,027	1,560	1,560		
	執行額	2,789	2738※	2,027	-	-		
執行率(%)	99.8%	100.7%	100.0%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	発見された疾患関連遺伝子候補及び薬剤感受性遺伝子候補の数(累積)	成果実績	件	7	22	48	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	発表論文数		活動実績 (当初見込み)	本	21	26	41	(-) (30)
単位当たりコスト	論文1本あたりのコスト 86(百万円/本)		算出根拠	単位当たりコスト = H22までの投入費用(7,539百万円) / H22までの論文発表数(88本)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	1,559.5百万円	1,559.5百万円					
	職員旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	委員等旅費	0.3百万円	0.3百万円					
	計	1,560百万円	1,560百万円					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>○これまでに収集した約30万症例の臨床データの追跡調査をより効果的、効率的に実施すべき。</p> <p>○臨床データの追跡調査や収集されたデータに基づく研究に予算を重点化することで、効率的な事業運営を実施すべき。</p> <p>○我が国全体のゲノム研究を見据えつつ、事業終了後のバイオバンクのあり方について、検討を開始すべき。</p>			
	予算監視・効率化チームの所見			
	一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、オールジャパン体制で個人の遺伝情報に応じた医療の実現を目指し、遺伝子研究等を行う研究開発に関連した公募型事業である。</p> <p>2. 所見:平成21年度レビュー等の指摘を踏まえ、23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業の重点化、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
<p>プログラム運営に係る経費について見直しを行うことでコスト縮減に努め、平成24年度概算要求において1百万円を縮減。</p>				
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
<p>※年度中に20百万円を流用増している。</p>				

文部科学省
2,027百万円

職員旅費 0.1百万円 を含む

疾患関連遺伝子研究、ELSI課題を審査・選定し、プロジェクト全体のマネジメントを実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【随意契約・委託】

A. バイオバンクの運営・遺伝子多型情報の高度化
1,835百万円
大学・病院等(全14機関)

(20万人30万症例のDNA・血清・臨床情報を集めたバイオバンク・ジャパンの運営、データベース構築
疾患関連遺伝子研究のための遺伝子解析)

【公募・委託】

B. 疾患関連遺伝子研究・ELSIに関する検討
192百万円
大学・病院等(全25機関)

(疾患関連遺伝子研究の推進、ELSI(倫理的・法的・社会的な取り組み)についての調査研究の実施)

A. 理化学研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	全ゲノム解析用試薬費、疾患関連遺伝子探索のためのゲノム全域および特定領域の遺伝子型判定の業務委託、SNPデータの管理およびデータ解析研究支援業務等	784			
人件費	業務担当職員	98			
一般管理費		50			
計		932	計		0
B. 国立大学法人東京大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	消耗品費(試薬類、理化学機材類)	24			
	雑役務費(資料整理、学会参加費)	2			
	国内外旅費	1			
	その他(会議開催費、通信運搬費、借損料、消費税相当額)	1			
人件費	業務担当職員、補助者に係る人件費	5			
一般管理費		3			
計		36	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. バイオバンクの運営・遺伝子多型情報の高度化

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	疾患関連遺伝子等の探索を効率化するための遺伝子多型情報の高度化	932	随意契約	-
2	株式会社 徳州会	血清サンプルおよび臨床情報の収集	317	随意契約	-
3	国立大学法人東京大学	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化	218	随意契約	-
4	学校法人日本医科大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	89	随意契約	-
5	順天堂大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	84	随意契約	-
6	学校法人日本大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	68	随意契約	-
7	学校法人岩手医科大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	33	随意契約	-
8	財団法人癌研究会癌研究所	血清サンプルおよび臨床情報の収集	18	随意契約	-
9	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター	血清サンプルおよび臨床情報の収集	16	随意契約	-
10	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	血清サンプルおよび臨床情報の収集	16	随意契約	-

B. 疾患関連遺伝子研究・ELSIに関する検討

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	B型肝炎ウイルス感染に対する応答性の遺伝的要因	36	企画競争	-
2	独立行政法人科学技術振興機構	科学技術振興による研究開発の推進に関する支援業務	26	企画競争	-
2	国立大学法人名古屋大学	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	13	企画競争	-
3	財団法人日本公衆衛生協会	先端医学研究に関する倫理的・法的・社会的課題についての調査研究	13	企画競争	-
4	学校法人日本医科大学	先端医学研究に関する倫理的・法的・社会的課題についての調査研究	10	企画競争	-
5	国立大学法人東京医科歯科大学	メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	9	企画競争	-
6	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	9	企画競争	-
7	学校法人東京女子医科大学	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	9	企画競争	-
8	国立大学法人徳島大学	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	8	企画競争	-
9	国立大学法人九州大学	メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	7	企画競争	-

※)「個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト」(第1期:平成15~19年度)開始の際に、外部有識者で構成する科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会による検討の結果、事業の目的及び実施体制が決定された。第1期プログラムにおいて構築した実施体制を、本プログラムにおいても活用するため引き続き事業を委託。なお、一部課題については平成20年度及び21年度に公募を実施している。